

# UAE・ドバイにおける植物工場市場の概要

---

【日本（担当：石橋 哲也）】  
〒131-0033 東京都中央区日本橋人形町3-3-5  
TEL: 03-5619-1335  
MOB: 090-6374-0813  
FAX: 03-4540-5658  
E-mail: [ishibashi@ksn-corp.com](mailto:ishibashi@ksn-corp.com)

【ドバイ（担当：永井 希望）】  
Office No. 26, Prime Tower, Business Bay, Dubai, UAE  
TEL: +971-56-925-9615  
E-mail: [nagai@ksn-corp.com](mailto:nagai@ksn-corp.com)

# 1. UAE・ドバイにおける植物工場市場の概要：UAEの食品自給率

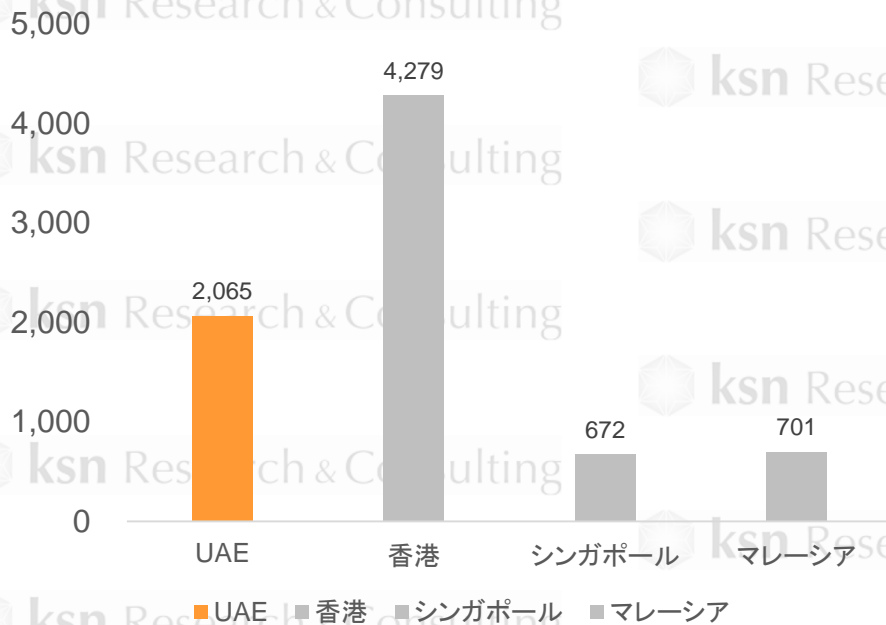
## UAEの食品自給率は約20%程度にとどまると言われており、東南アジア諸国と比較しても多くの果物／野菜を輸入している

- 多くの生鮮青果のほとんどは周辺国や欧州、アメリカ等からの輸入に頼っている状態である。

### UAEにおける果物／野菜の輸入量

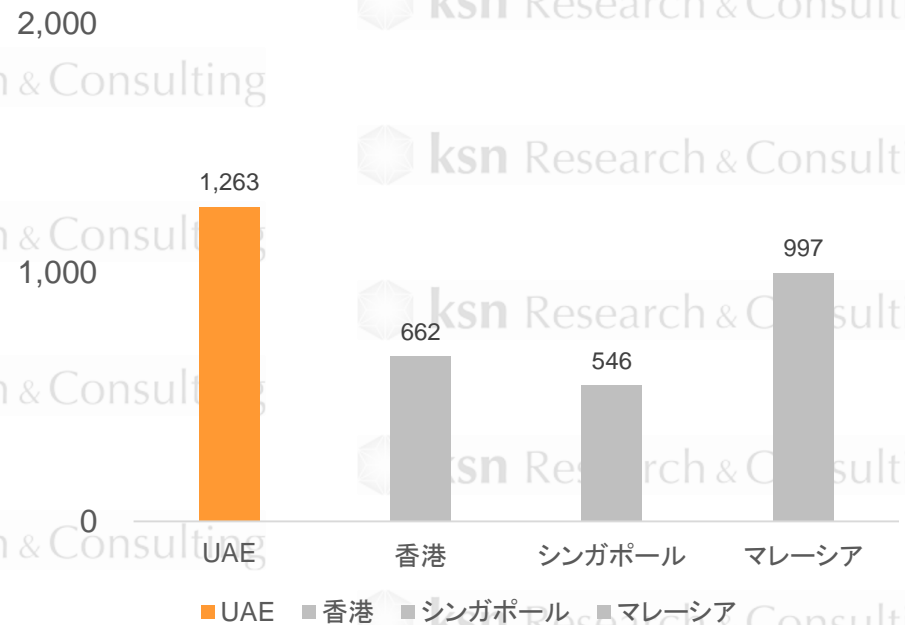
#### UAEの果物輸入量（2016年）

(100万USD)



#### UAEの野菜輸入量（2016年）

(100万USD)



# 1. UAE・ドバイにおける植物工場市場の概要：UAEでの食品売り場の様子

## 【参考】 UAEにおける生鮮野菜の販売エリアの様子

### 英国系高級スーパーにおける野菜販売エリアの様子





# 日系企業3社と現地大手財閥のAl Ghurair Groupが共同でドバイにて実証プラントを設置。

## 今後は、商業用の大型工場についても導入を検討していく見通しである。

- 2016年7月に4社での完全人工光型植物工場の海外展開を推進することに合意し、2017年1月にドバイで植物工場の実証プラントを導入した



**Marubeni**

✓ 植物工場の推進及び市場開拓

**SHOWA DENKO**

✓ 栽培方法のノウハウと栽培システムの提供

**CHIYODA CORPORATION**

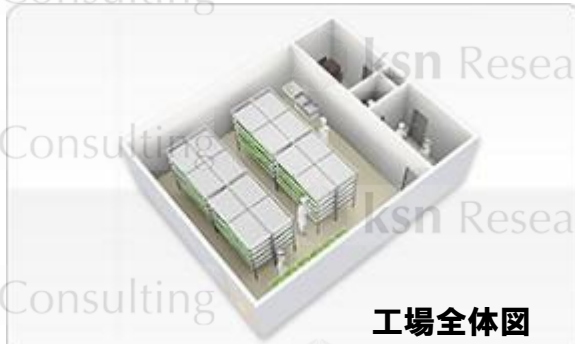
✓ 植物工場の設計・調達及び管理



**AL GHURAIR GROUP**

✓ 植物工場での栽培ノウハウの蓄積  
✓ 中東におけるマーケティング  
✓ 商業用の大型工場の導入検討

### 植物工場と栽培棚のイメージ



工場全体図



栽培棚

## 1. UAE・ドバイにおける植物工場市場の概要：既存プロジェクト

**現地においては、日本企業が事業主体として関わっていないプロジェクトも多数進行しており、2017年12月にはドバイ初の独立採算型の植物工場が運転を開始している**



**Badia Farm社  
(サウジアラビア)**

- ドバイ初の独立採算型の植物工場(約8,500sq. ft ≒ 約790平米)をAl Quoz工業地域にて運転開始
- 土、太陽光、農薬、その他化学品を一切使わない最新の水耕技術を用いて、製品の生産を行っている。
- 現在、ケール、赤キャベツ、ラディッシュといった葉物野菜を16種類生産している。



- それらの製品の販路としては、地場の提携先のレストラン等に販売をしている



**Emirates Hydroponic Farm社  
(UAE)**

- ドバイとアブダビの間に位置し、完全天候管理型の水耕型グリーンハウスを運営。
- Rotating Growing Systemを導入していると同時に、欧州型の節水システムも導入している。
- 現在、レタス、バジル、ディル等の葉物野菜やハーブを22種類生産している。



- それらの製品の販路としては、Web上で直販を行っている。

## 2. 日系企業によるUAE・ドバイにおけるビジネスチャンス仮説

**商業用の大型な植物工場、小規模な植物工場の双方にチャンスがあると考えられるがF/Sや需要家(製品の販売先)の確保、パートナー探索といった課題が挙げられる。**

	現状	機会	課題
商業用 大型植物 工場	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 既に実証プロジェクトは日本勢も含め、実施されている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ UAEの食品自給率向上に寄与でき、商業用として採算がとれる見通しが立てられるプロジェクトであれば、現地で適切なパートナーを探索することで、ビジネスチャンスが生じる可能性がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 現地の精緻なマーケット情報を基にしたF/S</li><li>✓ 現地でO&amp;M(オペレーションとメンテナンス)を実施可能なリソースを有するパートナー企業の探索</li></ul>
小型 植物工場	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 有名な外食店と共同し、その店舗の野菜を植物工場生産するという動きが直近で開始された。(例:Badia Farm社等)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 小規模な植物工場ですべての顧客のニーズに対して生産するという需要も今後、拡大していく可能性がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 需要家の確保(現地の外食、ホテル等)</li><li>✓ O&amp;Mを実施可能なリソースを有する代理店/パートナー企業の探索</li></ul>

 各種課題に対して、ksnコーポレーションではリサーチ/コンサルティングによる支援を実施可能



**ksn** Research & Consulting